

科 目 臨床血液学 (Clinical Hematology)

担当教員 横田 浩充、志越 顕、小菅 孝明

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

この講義は臨床検査技師免許取得を目指す学生を対象にしたものである。
血液学の基礎を復習し、病態（臨床）との関連を学び理解する。これにより、実際の仕事（臨床血液検査）に役立てることを目的とする。

<教育目標>

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

<具体的な項目>

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)
 根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)
 常に問題を科学的に分析・解釈しようとし、そのための科学的探究を試みる態度 (1)

【2】 授業計画

No.	内 容
1	臨床血液検査の概要 (担当：横田)
2	赤血球の形態異常、貧血の種類 (担当：横田)
3	白血球の形態異常、急性白血病の分類 (担当：横田)
4	造血器腫瘍、骨髄増殖性腫瘍について (担当：横田)
5	造血器腫瘍における特殊染色検査Ⅰ (担当：横田)
6	造血器腫瘍における特殊染色検査Ⅱ (担当：横田)
7	造血器腫瘍におけるリンパ球細胞表面マーカー (担当：横田)
8	血液疾患の染色体・遺伝子異常 (担当：横田)
9	造血器腫瘍の血液検査値について (担当：横田)
10	白血病について (担当：志越)
11	血液凝固の機序と病態 (担当：小菅)
12	血液疾患 (1) : 赤血球系 (担当：小菅)
13	血液疾患 (2) : 血栓・止血系 (担当：小菅)
14	血液疾患 (3) : 血栓・止血系 (担当：小菅)
15	学習到達度の確認

【3】 到達目標

血液の成分・機能、血液疾患の血球形態について説明できる
 赤血球、白血球、血小板の機能、検査方法について説明できる
 止血機構を説明できる
 血液疾患の原因、検査方法、治療法についても説明できる

【4】 授業概要

血液の機能を説明しながら形態的な特徴も説明する
 血栓・止血機構についての概説およびその成分、検査方法を説明し、血液疾患の紹介をする

【5】 準備学習 (予習・復習) および必要時間

シラバスの内容について配布資料および教科書で予習 (2時間) すること
 授業後は課題あるいは配布された資料を復習 (1時間) すること

【6】 教科書・参考書・参考資料

- [教科書] 標準臨床検査学 血液学 医学書院
 [教科書] 最新臨床検査学講座 血液検査学 医歯薬出版
 [参考書] 病気がみえる vol.5 血液 メディックメディア
 [参考書] 臨床検査法提要 金原出版
 [参考書] 人体の正常構造と機能 改訂第2版 (日本医事新報社)

【7】 評価方法およびフィードバック

出欠状況・受講態度を参考とし、中間試験 (1回、30%) および定期試験 (70%) にて評価する。試験後に模範解答を示し指導する。

【8】 オフィスアワー

非常勤講師：授業の後に質問等を受ける
横田：月、火、木の15時以降

【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床検査総論実習 血液学実習：病院実習 臨床血液学実習 臨床特別講義

【10】 その他

臨床検査関係の講義科目：医学概論・臨床生化学・免疫学・動物生理化学等、今まで学んできた知識が定着していることが望ましい。